

アドバンテッジ リワーク& ジョブセンター

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

東京都千代田区の通所型リワーク施設

https://www.armg.jp/business/advantage-reworkandjobcenter-p/

サービス分類・提供内容（選択式）			サービス概要・特徴（500文字以内）	
体制・業務構築支援	産業保健体制構築支援		メンタル不調で休職中の方が職場復帰を目指すための通所型リワーク施設。 ■心理の国家資格保有者も所属し、リワーク経験・大企業へのサポート実績も豊富 2025年11月に開所した施設ですが、これまで提供してきた企業向けの復職支援のカウンセリング実績は豊富。施設のスタッフにも心理の専門家を配置。 ■最短3週間、柔軟な通い方も応相談 個別支援計画を一人ひとりに作成。移動訓練を兼ねて、原則3週間以上は通っていただきますが、休職の残期間等も考慮し柔軟に対応。本人、企業担当者、支援員の三者での個別支援計画の見直し等も積極実施。 ■充実のプログラム 通所者には「eRework」のライセンスを1ID無償提供。認知行動理論をベースにした豊富なeラーニングやグループワークメニューで、復職・回復までしっかり伴走。 eラーニングは復職後も半年間利用可能。 生活リズムや通所状況はスマートフォンでも記録できる。手書きやExcel等で記録と異なり、ログが残る仕様のため、より正確に企業への回復状況やリワークでの経過報告にも活用可能。 ※監修：産業医の難波克行先生。 ※就労移行支援事業所として東京都の指定を受けて運営。	
	健康経営推進支援			
	ストレスチェック制度対応支援			
	ハラスメント対策支援			
	過重労働対策支援			
	復職支援に係る体制・業務構築支援	○		
	人事・労務向けアドバイザー	○		
調査・分析支援（人的支援）				
現状把握・分析システム	ストレスチェックシステム			
	パルスサーベイ・従業員意識調査			
	健康・労務データ統合分析システム			
組織づくり・職場環境改善	組織開発コンサルティング			
	管理職向け研修			
	従業員向け研修			
管理職向け個別支援				
従業員支援	相談窓口・カウンセリング			
	セルフケア研修	○		
	セルフケア支援アプリ			
	復職支援	○		

期待される効果

【凡例*】○:実証評価>○:導入企業の評価>●:理論的裏付け

		根拠の詳細		
		導入企業の評価	理論的裏付け	実証評価
基盤整備	1. 法制度対応			—
	2. 制度・施策体系の整理			—
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減			—
	4. 組織状況の把握			—
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上			
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上			
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	○		
	8. 不調の早期発見・対応			
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○	●	
	10. 仕事のストレス要因低減			
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善		●	
	14. 健康状態・心理指標改善			
	15. アブセンティーズム改善			
	16. プレゼンティーズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

*ウェルコ上で掲載される際に複数の根拠がある場合は、凡例の優先順で表示されます。

理論的裏付け（500字以内）

・認知行動理論に基づいて作成されたプログラムをeReworkというツールを主に使用して訓練を実施している。

・東京都の指定申請を受けており、必要な人員やスペース等を確保したうえでサービス提供。

実証評価

学術介入の有無	エビデンスの水準
（学術介入有りの場合）氏名・所属・専門、掲載文献・発表した学会・演目名（500字以内）	
実証評価の結果概要（500字以内）	

様式3 導入企業の評価

該当する効果			実施概要・結果	
基盤整備	1. 法制度対応		最終的には個人が利用申し込みするため、企業ではなく個人の利用者にインタビューした結果です。	
	2. 制度・施策体系の整理			
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減			
	4. 組織状況の把握			
取組の普及・浸透	5. サーバイ受検率向上		2025年11月より、「アドバンテッジ リワーク&ジョブセンター 神田」にて、リワークのサービスを提供開始。 利用者4名のうち、4名にインタビューを実施。 原則として週5日、8週間前後の利用期間。 ※個人によってプログラムが異なる場合あり	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上			
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	○		
	8. 不調の早期発見・対応			
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○		
	10. 仕事のストレス要因低減			
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上			
	12. 周囲のサポート力向上			
心の健康・業務パフォーマンス	13. 生活習慣の改善			
	14. 健康状態・心理指標改善			
	15. アブセンティイズム改善			
	16. プレゼンティイズム改善			
	17. ワーク・エンゲイジメント向上			
	18. 従業員エンゲージメント向上			
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）			

成果・評価コメント ※「該当する効果」との対応がわかるよう（ ）内に効果のNoを付記する

- ・eReworkでインプットする情報は多く、体系的に学習できるので、認知行動理論を中心に自身の考え方のクセや対応するポイントを整理することはできた。(9)
- ・グループワークは、他者に自身の考えを伝える機会と他者の意見を聞く機会となっており有効に感じる。(9)
- ・勤務先への生活リズム表等の報告は、eReworkで完結するので簡素で良い。
- ・認知行動理論のプログラムと定期面談では、自分の考え方のクセを理解できた。(9)
- ・実際の勤務環境に似ていて、自分のペースで取り組めている。(7)
- ・開始段階では、体調面にも強く課題があり、個人ワークで参加しやすかった。(7)

※利用者へのインタビューをもとに記載

評価者情報				
個社ごとの評価結果を根拠とする場合	企業名①		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名②		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名③		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
	企業名④		業種	
	部署名・役職		従業員規模	
複数社からのアンケート結果を根拠とする場合	アンケート対象及び回答社数	利用者4名のうち、4名にインタビューを実施。		
	実施時期・方法	実施時期：2月13日～17日 方法：口頭でのインタビュー		
	主な設問内容	・当センターの利用を選択した理由 ・オンラインリワーク（eRework）の機能を利用してみて感じること		

該当する効果		
基盤整備	1. 法制度対応	
	2. 制度・施策体系の整理	
	3. 人事・産業保健業務の効率化・負担減	
	4. 組織状況の把握	
取組の普及・浸透	5. サーベイ受検率向上	
	6. 相談窓口の利用率・認知率向上	
	7. プログラムへの参加率・利用率向上	
	8. 不調の早期発見・対応	
	9. ヘルスリテラシー・意識向上	○
	10. 仕事のストレス要因低減	
	11. 心理的安全性・上司のサポート力向上	
	12. 周囲のサポート力向上	
	13. 生活習慣の改善	
	14. 健康状態・心理指標改善	
	15. アブセンティーズム改善	
	16. プレゼンティーズム改善	
心の健康・業務パフォーマンス	17. ワーク・エンゲイジメント向上	
	18. 従業員エンゲイジメント向上	
	19. 労務指標改善（離職率、残業時間等）	

名称：認知行動療法
掲載文献等：厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業
「精神療法の実施方法と有効性に関する研究」
『うつ病の認知療法・認知行動療法 治療者用マニュアル』（9）

認知行動療法にて用いられる主要な概念（スキーマ、認知の歪み、自動思考など）と標準的なセラピーの進め方に基づき、リワークプログラム全体の設計およびプログラム内に組み込まれているe-learningのコンテンツ作成を行っております。

東京都の指定申請の基準に則って、

- ・施設の面積（例：作業訓練室60㎡以上など）
- ・部屋の種類（例：相談室の設置など）
- ・プログラム構成
- ・支援する側の人員

などを遵守して運営しています。